

特定非営利活動法人十日町市地域おこし実行委員会
2013 年度 事業報告

1	農産物直販事業
1－1	山清水米直販
・平成 24 年産米 「山清水米」7751.45kg、「超特選 農薬・化学肥料不使用『山清水米』はざ架け米」（以下はざかけ米）472kg(共に完売)、若米会様の「限界集落プロジェクト（郷プロジェクト）」に 90 俵（5400kg）出荷致しました。 ・平成 25 年産米 一部、新潟県の「特別栽培米」の認証を取得し、若米会様に 120 俵（7200kg）を出荷いたしました。一般販売分としては、3 月末時点の発送済と予約分で 7036kg、はざ架け米 773kg の販売量となっています。24 年産米では 11 月中に予約分をもって完売となった「農薬・化学肥料不使用はざ架け米」は、生産者の努力により収穫量・販売量を増やすことが出来ました。25 年産米のはざ架け米も間もなく完売となる見込みです。	
1－2	畑作事業
2013 年度は、池谷・入山集落での農地の集約化・組織化に向けて、稲作の組織化がまだ難しいという事で、まずは山菜販売の組織化と空いている畑を組織として作付けを行いました。 山菜は山菜便として通販を行い、24 セットのご注文を頂きました。畑作の作付け面積はジャガイモ 16a（アール）、枝豆 7a、サツマイモ 8a、大根 6a の面積での作付けでした。学校給食等に出荷し、山菜と合わせて合計 528,705 円の売上でした。集落の方々やインターン生の皆様も一緒に作業しました。実行委員会職員以外の作業従事者の方々への作業手間賃の支払いは 210,934 円、純利益は 141,829 円となりました。	
1－3	集落加工品販路拡大事業
2013 年度は、①自前での加工と②委託加工の品目を精査し、①はその候補品目を②はその品目と加工先業者を選定しました。 まず、池谷集落で作付可能な農産物と県内外の委託加工先業者を調査しました。結果、（株）大沢加工を委託加工先に選定し、自前での加工品の品目も検討しました。2 月には、市役所職員や専門家を招いて試食会を実施。14 品目を出品し、平均評価が 5 段階評価で 3.34（最高 4.5 最低 2.91）と概ね高評価を得ることができました。3 月には委託加工の第一弾として、「山清水米 白がゆ」（レトルトパウチ）を商品化しました。今後も委託加工品については、農産物の生産に合わせ順次発注予定です。	
2	体験交流事業
2013 年度は計 12 回のイベントを開催し、のべ参加者人数は 236 名となりました。 ・田んぼへ行こう!! FedEx 様、JEN 様と共催する「田んぼへ行こう!!」は、2013 年度で 6 年目になりました。どの回も盛況で、キャンセル待ちが出る回もありました。また、全 3 回とも参加して下さった方が 5 名もあり、今までで一番多い人数になりました。 ・山村へ行こう! 田舎暮らし体験イベント「山村へ行こう!」は、2013 年度は 3 回実施しました。山菜採り・まき割り・冬支度・野菜の収穫など、四季おりおりの池谷・入山を満喫していただきました。 ・盆踊り	

2010 年以来の開催となる盆踊りには、78 名の方（集落住民などのぞく）が参加してくださいました。集落住民、住民のご家族、都会から来てくださった方、インターン生など、多くの方でにぎわいました。

・ヨガでリフレッシュ in 池谷

ヨガイベントも、2013 年度で 3 年目となり、すっかり定着してきました。9 名の方にご参加いただき、分校体育館やブナ林でのヨガを楽しんでいただきました。

・収穫祭

毎年開催している収穫祭には、2013 年度は 60 名の方にご参加いただきました。実行委員会の活動報告、参加型の人間ビンゴ、懇親会ではインターン生と集落住民が協力して劇を披露するなど、もりだくさんの内容になりました。

・スノーバスターズ

2013 年度は例年に比べ小雪でしたが、18 名の方にご参加いただき雪かきの手伝いや雪遊びを楽しんでいただきました。また、中越防災フロンティア様と「越後雪かき道場」も共催いたしました。参加者は 12 人でした。

3	移住促進事業
---	--------

3-1	十日町市への移住促進
-----	------------

2013 年度は市役所から事業委託を受け、以下の 4 つの取組を実施しました。

・移住相談会への出展

新潟県が主催する「にいがた暮らしセミナー」のほか、「ふるさと回帰フェア」に物産販売ブースの出展を行い、十日町市の PR に努めました。結果、全部で 35 組 43 名の方々の移住相談を行いました。相談ブースで個別対応した相談者のうち、4 組 5 名が十日町市への移住につながる結果となりました。

・さとナビ（移住希望者向け情報サイト）の運営

「さとナビ」HP への訪問数は 18,854 人（H25 年 4 月～H26 年 3 月実績）となっています。十日町市への移住を希望される方へのタイムリーな情報発信を心掛け、体験交流情報をはじめ、市内外の不動産業者へ空き家情報の掲載協力を依頼し、複数の情報掲載を行いました。

Facebook ページ「さとナビ十日町」では、「いいね！」343 件（2014 年 3 月時点）となっています。

・十日町市 PR パンフレットの作成

「さとナビ」をリーフレット化した「さとやまナビゲーション」を制作しました。デザインから印刷製本までを外部委託し、手に取ったときのインパクト、見やすさを重視した上で、十日町市の紹介、「8 つの自慢」として魅力発信を行うとともに、「先輩移住者の声」や「移住ステップ」、十日町市での「生活の注意点」を掲載し、十日町市での生活を具体的にイメージできるようにしました。

合わせて、表紙をポスター（A1 版）化し、相談ブースのパーティションに掲示することで十日町市の PR に努めました。

・個別の移住相談者への対応

移住希望者からのメール・電話での問い合わせに対して、2 名の方の個別対応を行うとともに、十日町市役所担当の方との情報共有を行いました。

3-2	インターンシップ受入
-----	------------

下記 2 種類のインターン制度を活用して受入を行いました。

① にいがたで「暮らす・働く」応援プロジェクト（運営：新潟県・十日町市・NPO 法人十日町市地域

おこし実行委員会)・・・受入期間：1ヶ月間、受入可能人数：十日町市内で9枠 ② にいがたイナカレッジ（運営：公益財団法人中越防災安全推進機構）・・・受入期間：2週間～1年間、受入可能人数：新潟県内で8枠 のべ13名、重複を省いた実数11名の方の受入、コーディネートを行いました。 インターンシップ終了後に移住へステップアップしている方が多く、5組6名の方が十日町市・上越市に移住、1名の方がトオコン（十日町ビジネスコンテスト）で最優秀賞を獲得し事業化の準備を行っており、2015年度から十日町市に移住見込みとなっています。また、1名冬季1ヶ月間のインターンで来られた方が、2014年度は1年間のインターンに参加しています。 11名中6名（＋パートナーの方）がインターン後に新潟県内に移住（見込み含む）し、1名の方が長期インターンにステップアップする事につながりました。	
3-3	住宅建設プロジェクト
新規移住者用体験住宅「めぶき」建設の準備を行いました。寄附金目標500万円に対し、524万2761円のご寄附を頂きました。この場をお借りいたしましてお礼申し上げます。 当初建設を予定していた土地は登記の手続き上、建設不可能だという事がわかり、代替の土地の取得費用がさらに必要となりました。新たな建設予定地は集会場の隣の土地になります。この土地の売買に関しては地権者の方と合意が得られた状況になっています。十日町市の設計士グループ「Studio-H5」の方々に協力を頂き、図面の設計等準備を進めました。	
4	地域復興支援員設置事業
・概要 2013年度から十日町市役所とのパートナー事業という位置づけで「地域復興支援員設置事業（通称：里山プロジェクト）」を開始いたしました。この事業では、池谷・入山集落周辺だけではなく、広く十日町市内全域を範囲として、中山間地振興に取り組んでいます。中越大地震から9年経っており、「復興から振興へ」という形で活動を進めました。 ・主な取組 公益財団法人山の暮らし再生機構が運営していた里山センターからの事業を一部継承しながら、新たな取組みを始めました。新たな取組としては、中山間地高齢化集落支援のモデルケースの確立をめざして多岐にわたる取組を行いました。 一つの例として「地域経済振興検討事業」という名目で、中山間地の農産物を活用しながら経済活動に結び付けていくための取組を行いました。具体的には、各地区に合わせた内容で例を挙げると「下条高原の棚田を守る会」の米直販の支援や、雪室を活用した地元農産品の安定出荷の試み、太平直売所から「特別養護老人ホームほくほくの里」への出荷、学校給食への流通の仕組みの構築等です。学校給食の取組については特に力を入れた分野であり、一定の数値的な実績も上がってきました。 ・その他の取組 他に、移住・定住促進支援や体験交流・都市交流、外部人材活用支援として地域おこし協力隊設置事業の支援や、地域おこし協力隊員との連携を行っています。また、情報収集・発信という事で、「松之山の直売所情報」のブログや「いいね！で選ぶ毎月フォトコン@松之山」、「じろばた直売所情報」といっ	

た Facebook ページの作成・運営を行っています。 また、外部集客として「松之山温泉スキー場」で開催された婚活イベントの企画運営を行いました。	
5	情報発信・農山漁村応援事業
5－1	情報発信
・視察 17 団体 227 名の方にお越しいただきました。 ・講演 11 会場に訪れ、1261 名の方に聞いていただきました。	
5－2	農山漁村応援
昨年度に引き続き、東北応援企画として石巻産海苔を販売し、完売いたしました。 また、地元企業「高長醸造場」の漬物（ホッポロ漬・ががなんばん漬）、「農家民宿かくら」の年越しそば、池谷の「やまたまご」、村の方の野菜を委託販売しました。	
6	管理部門
6－1	受賞
・「がっとうぎとぐっと賞」ぐっと賞 NPO 法人新潟 NPO 協会様から、「がっとうぎとぐっと賞」ぐっと賞を受賞いたしました。ぐっと賞は、「社会の求めに応えた、共感が集まる活動」を行った団体に贈られる賞です。 ・「第 14 回住みよい町づくり妻有ショッピングセンター環境大賞」環境賞 十日町市の妻有ショッピングセンター様から、「第 14 回住みよい町づくり妻有ショッピングセンター環境大賞」環境賞を受賞いたしました。	
6－2	メディア掲載
・新聞 4/4 十日町新聞、8/28 しんぶん赤旗、10/22 新潟日報、12/17 新潟日報、12/20 津南新聞 ・雑誌・テレビ・ラジオ・その他] 5/10 市報とおかまち、月刊農業くまもと「アグリ」7 月号、9/10 市報とおかまち、いなか暮らしの本 8 月号、月刊事業構想 8 月号、棚田に吹く風 秋号、11/10 市報とおかまち、12/23 FM とおかまち「市民リレー」、12/30 FM とおかまち「市民リレー」、2/16 TBS「ホームカミ」	